

Medical Management Specialist  
MMS NEWS

2013  
7・8  
月号

●発行／一般社団法人  
日本医療経営実践協会  
(JMMPA)  
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町  
4-14  
神田平成ビル7F  
●編集／日本医療企画  
●毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

●受験者の種別構成  
〔年齢別(図1)〕  
受験者、合格者とも、30歳以上39歳以下が最多(受験者数106人、合格者数21人)。これは、第1回〜第5回累計(以下、過去累計)と変わらなかった。

一方、今回特徴的だったのが、50歳以上59歳以下の合格率の高さ(41.7%)である(受験者数36人、合格者数15人、過去累計合格率27.5%)。逆に、40歳以上49歳以下の合格率は16.0%にとどまった(受験者数75人、合

格者数12人、過去累計合格率20.4%)。〔職業別(図2)〕  
受験者全体では、病院勤務者が79人で最多。合格者では、病医院勤務者20人(合格者全体の38.5%)、金融機関勤務者11人(同21.2%)、医療関係企業勤務者8人(同15.4%)、その他(個人等)13人(同25.0%)。〔都道府県別〕  
表1、表2はそれぞれ、受験者数、合格者数の上位5県を示す。福岡県、石川県、岡山県は、受験者数順位と比較して、合格者数順位が高くなっていることがわかる(福岡県4位↓2位、石川県・岡山県5位以下↓3位)。

◆第5回「医療経営士2級」資格認定試験 結果概要

	受験申込者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
両分野受験(3級取得者)	211	194	32	
第1分野受験(第2分野合格証明書取得者)*1	2	2	2	
第2分野受験(第1分野合格証明書取得者)*2	46	42	18	
合計	259	238	52	21.8

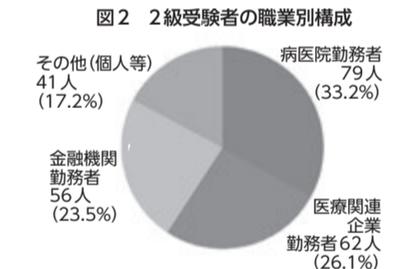
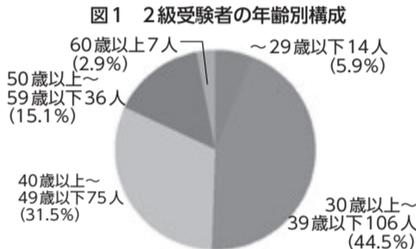
\*1:「3級」取得者で、第4回試験までに、「2級」第2分野合格証明書を取得した者  
\*2:「3級」取得者で、第4回試験までに、「2級」第1分野合格証明書を取得した者  
※各項目の割合は、小数点第2位を四捨五入しているため合計が100にならない場合がある

表1 2級受験者数 上位5都道府県

1位:東京都 = 60人 (25.2%)
2位:神奈川県 = 23人 (9.7%)
3位:埼玉県 = 14人 (5.9%)
4位:福岡県 = 13人 (5.5%)
5位:大阪府 = 11人 (4.6%)
5位:兵庫県 = 11人 (4.6%)

表2 2級合格者数 上位5都道府県

1位:東京都 = 12人 (23.1%)
2位:福岡県 = 4人 (7.7%)
3位:埼玉県 = 3人 (5.8%)
3位:神奈川県 = 3人 (5.8%)
3位:石川県 = 3人 (5.8%)
3位:岡山県 = 3人 (5.8%)



●受験者の種別構成  
〔年齢別(図3)〕  
受験者、合格者とも、30歳以上39歳以下が最多(受験者数326人、合格者数107人)。次いで40歳以上49歳以下(受験者数274人、合格者数97人)。この順位は、第1回〜第9回累計(以下、過去累計)と同様である。〔職業別(図4)〕  
受験者、合格者とも、金融機関勤務者が過半数を占める(受験者数464人、受験者全体の54.9%、合格者数145人、合格者全体の52.2%)。

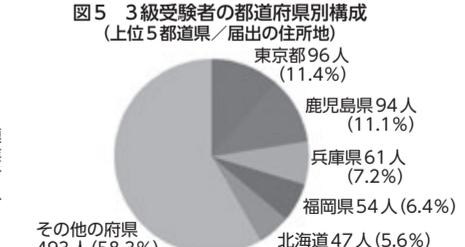
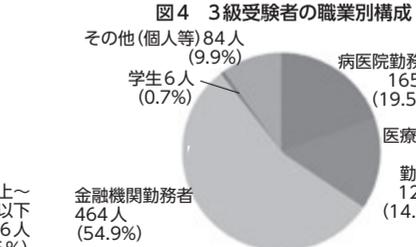
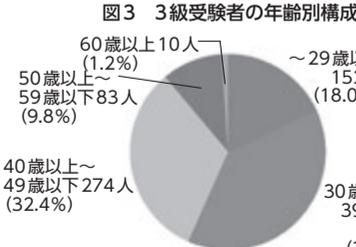
◆第9回「医療経営士3級」資格認定試験 結果概要

	受験申込者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
受験申込者数(人)	961			
受験者数(人)		845		
合格者数(人)			278	
合格率(%)				32.9

病医院勤務者は、受験者数165人(全体の19.5%)、合格者数56人(同20.1%)。〔都道府県別(図5)〕  
受験者全体では、東京都が96人で最多。次いで、鹿児島県94人、兵庫県61人。合格者では、東京都が38人(合格者全体の13.7%)で最多。以下、鹿児島県37人(同13.3%)、北海道25人(同9.0%)と続く。その他、詳細は協会ホームページを参照されたい。

◆次回の「医療経営士」資格認定試験日程

- 3級(第10回) 2013年10月20日(日)
- 2級(第6回) 2013年10月20日(日)
- 1級(第1回) 第一次 2013年9月8日(日) 第二次 2013年12月1日(日)



第5回「医療経営士2級」52人合格、第9回「医療経営士3級」278人合格  
「医療経営士2級」合格者累計188人  
「3級」合格者累計2344人!  
一般社団法人日本医療経営実践協会(代表理事・吉原健二)は6月16日、第5回「医療経営士2級」資格認定試験を実施した。全国7会場  
で238人が受験、52人が合格した。  
また、同日、第9回「医療経営士3級」資格認定試験も実施し、全国13会場で845人が受験、278人が合格した。



2級資格認定試験は、北海道、宮城県、東京都、石川県、愛知県、大阪府、福岡県の7会場を実施(写真は東京会場)

## 第2回「全国医療経営士実践研究大会」

### 特別講演などプログラム決まる！

# 審査委員長に中村彰吾氏就任

11月16・17日の2日間にわたって開催される、全国医療経営士実践研究大会。このたび、医療経営士による演題発表の審査委員長に東京都健康長寿医療センター理事・経営企画局長で、昨年の第1回大会で特別講演を行った中村彰吾氏の就任が決定した。合わせて決定した講演等のプログラムとともに、演題発表者に向けた中村氏の熱いメッセージをお届けする。



昨年の大会で特別講演を行う中村氏。大会後のアンケートでは、「参考になった」と答えた人の数が全演者中最多となった

このたび、第2回「全国医療経営士実践研究大会」の審査委員長を拝命し、光栄であると同時に責任の重さをひしひしと感じています。今回、演題発表をされる医療経営士の皆さんに向けて、いくつかポイントを挙げておきたいと思います。

①資格は取得がゴールではなく、行動・実践の通行手形となる

病院の組織は相対的に見て、まだまだ縦割りになっており、部署間の壁も厚く排他的・保守的であるのが現状です。

医療経営士の皆さんは、地域医療を担っている自院の役割を遂行すべく、勇気を持ってその壁を打ち破り、現場に飛び込んで行ける「通行手形」を手に入

います。そして現場の人とともに考え、協働して医療の質の向上と、業務

の効率化に果敢にチャレンジしなければならぬ、大きなミッションを担っています。

決して資格取得をゴールと考えるのではなく、行動・実践してこそ医療経営士である意味が生まれるのだという

「ベンチマーク」を行い、④質の向上と効率化の「パイロットプラン」を作成して現場とともに実践し、「プランの検証を「数値化」し「見える化」することまでをひとつのプロジェクトと考え、その内容を伝えていただきたいと考えています。

常念頭に置くのは「PDCAサイクルを回す」ことでもあります。これは医師が患者の診断・治療にあたり、診療録に記載するSOA

さい。

②地域密着型病院のモデルづくりの研究と実践  
今回の大会では、皆さんが、①「これはおもしろいぞ」と気づき、②現状把握のため現場に飛び込み、業務の効率化を「お手伝いする気持ち」で現状プロセスを分析し、③理論的にはどうなのか、他の病院ではどのようにしているのかといった客観性の検証のために

「P方式(表)にも似ています。」

望んでいます。第1回目の大会の反省から、今回は発表時間間に余裕を持たせ、参加者との活発な質疑応答がふれあいの時間を取っています。審査に当たっては、冷徹かつ公正なる視点で拝聴させていただきます。

#### 表 SOAP方式

S : Subjective	患者の訴えなどを自分の経験・知識で主観的に疑い病名をつける
O : Objective	放射線診断や、検体・生理検査所見などの客観的情報で主訴を絞り込む
A : Assessment	主観的判断、客観的データの裏付けにより病名の判定、所見、評価を下す
P : Plan	治療に向かっの指針などの計画を立てる

#### プログラム：第1日目(11月16日(土))

(7月15日現在)

時間	内容
12:00	開場・受付
13:00	代表理事 開会の挨拶 開会の言葉 橋爪 章氏(日本医療経営実践協会九州支部支部長、保健医療経営大学学長)
13:20~14:20	基調講演「医療機関におけるアメーバ経営」 森田直行氏(京セラマネジメントコンサルティング代表取締役)
14:20~15:20	特別講演(1)「医療機関版失敗学のススム」 園田定彦氏(特定医療法人友愛会理事長)
15:20~15:30	休憩(10分間)
15:30~16:30	特別講演(2)「看護部からみた医療経営」 神坂登世子氏(国際医療福祉大学看護学部教授、前福岡県看護協会会長)
16:30~17:30	パネルディスカッション「2025年に生き残るための"新"病院経営モデル」 座長：橋爪 章氏 ◇パネリスト ・近森正幸氏(社会医療法人近森会近森病院院長) ・朝戸幹雄氏(医療法人愛誠会昭南病院院長) 他
17:30	1日目終了
18:00~20:00	懇親会(全国医療経営士情報交流会) 会場：福岡ガーデンパレス(大会会場隣)

#### プログラム：第2日目(11月17日(日))

(7月15日現在)

時間	内容
9:00	開場・受付
9:30~10:15	「これからの時代に求められる医療経営士像」 西山幸雄氏(山口県厚生農業協同組合連合会代表理事専務)
10:20~12:00	研究発表会【1】「医療経営士による演題発表」(4人)
12:00~13:00	昼食(60分間)
13:00~15:05	研究発表会【2】「医療経営士による演題発表」(5人)
15:05~15:20	休憩(15分間)
15:20~17:00	研究発表会【3】「医療経営士による演題発表」(4人)
17:10~17:40	ディスカッション 演題発表者と橋爪大会委員長によるディスカッション
17:40~18:00	閉会式 ——表彰式—— 【審査委員長総括、入賞者発表・表彰】 ——閉会挨拶—— 【次回大会運営委員長】 清水鴻一郎氏(関西支部長)

【審査委員長】中村彰吾氏(地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター理事)

【審査委員】矢野正子氏(日本医療経営実践協会九州支部理事、聖マリア大学学長) 他

(中村彰吾)

クローズアップ 田辺三菱製薬株式会社 中村芳宣氏

## 製薬会社勤務の医療経営士に聞く! 今、MR (医療情報担当者) に 求められるスキル



田辺三菱製薬株式会社  
営業本部埼玉支店営業部推進課  
医療経営士2級

**埼** 玉支店の営業部推進課に所属し、主に所属MRのサポート役として、業務推進のための企画立案や医療情報を担当しています。医療情報の講演会では私が講師を務め、事前打ち合わせの内容をもとに1時間程度お話をします。診療報酬改定時には必然的に診療報酬絡みの内容が多くなるのですが、普段はDPCデータ分析とその活用や最新の医療情報等をテーマに講演しています。弊社には私以外にも医療情報関係の話をできる人材が本社や支店にあります。

少し前の話になりますが、私の講演を聴かれた先生から、医療系の大学で非常勤講師をしないかという誘いがありました。しかし、DPCや診療報酬についてならある程度自信はあったものの、さすがに大学で教鞭をとるまでの幅広い知識はありません。そのときは丁重にお断りしたのですが、改めて医療経営を体系的に学ぶ必要性を感じ、何か勉強できる教材がないかと探していたときに医療経営士を知りました。他の医療系の資格と比較しながら検討した結果、研究会活動など合格後のフォローが充実していることが決め手となり、懇意にさせていただいている、ある病院長が医療経営士の資格を推奨さ

れていたこともあり、取得を決めたのです。

当時(第2回試験)はまだ「飛び級受験制度」があり、2級から受験することにしました。テキストを開くとさまざまな医療制度の成り立ちや財務会計、介護などそれまで業務では直接関係のなかった分野も多く、学習の過程でそうした知識を補えたことが、その後の営業活動に役立っています。

医療経営を体系的に学べる機会のないMRにとって、医療経営士は大変意味のある資格だと考えています。2012年4月に製薬会社の公正競争規約の接遇に関する部分の改定もあり、最近では医師との面談や関係構築がますます難しくなっています。自社製品のPRをするだけでは医師の反応も鈍く、医師に彼らとなら会いたいと思ってもらうためには付加価値の高い情報をいかに提供できるかが重要です。MRは医療機関の多様なニーズに応えるためにも、これまで以上の知識やスキルを習得しなければなりません。医療経営士のテキストはそのための格好の教材であり、若手のMRには3級、マネージャー(所長)クラスには2級の取得が有用だと考えています。

私は医療機関で病院長や理事長、薬剤部長といった経営層の方とお会いすると、同行したMRが驚いてしまうほど話し込むことがあります。経営層の方は常に経営上のメリットは何かを考えていて、少しでも有益な情報を得ようとしています。こちらが経営について知識があるとわかると、他の会社のMRとは少し違うと感じてもらえるのでしょう。自然と会話が弾みます。同行したMRのなかにはそれを肌で感じ、自ら率先して医療経営について学ぶ者も出てきました。

今後は医療経営士として、人材育成にも力を入れたいと考えています。若手MR向けの社内研修はあるのですが、残念ながら医療制度や経営全般について学ぶ機会が多くありません。まずは支店から私が、これまでの経験や若手に必要な知識を伝えていきたいと思っています。

営業は取引先との信頼関係が命です。信頼関係が構築できなければ、自社の製品をPRするどころか、会ってもらうことすらできません。病院のマネジメントがわかるMRが、今求められているのだと実感しています。

## Relay Interview

「医療経営士」リレーインタビュー

第7回

医療法人社団浅川浅川総合病院管財課主任

加藤伸一氏  
医療経営士2級

## 他職種のもとに積極的な足を運ぶことが業務改善、自己研鑽につながる



「医療経営士」が、資格取得を目指したきっかけ、所属先での課題やミッション、資格取得を通じてどう職務に活かしているかなど、リレー形式で全国の「医療経営士」の声をお届けする。

管財課ではどのような仕事をされていますか。

医療行為が安全かつ円滑に行われるよう、医療材料・機器等の適正な購入と管理を行っています。具体的には、医療材料の発注、払い出し、価格交渉、医療機器の購入・修理の対応、保守、伝票類の処理などです。当院には一般病床以外に、人工呼吸センター、透析センターなどがあり、使用する医療材料も多種多様。現場からの要望を聞くだけでなく、他の製品を勧めるなどの提案をしています。

医療経営士の資格を取得したきっかけは何ですか。取得して変化はありましたか。

日本医療経営実践協会設立の趣旨を知り、医療経営に二石を投じるのもしろうな取り組みが始まると感じたからです。当時は一般企業から転職して3年ほど経った頃で、自身の業務が、病院経営のなかでどのような位置づけかを明確に理解できないまま、毎日の業務に向き合っていました。そのようなときに一度立ち止まって医療経営を学んだことで、院内の各業務の流れや関係性を理解できるようになりました。3級資格取得後、地元の水沢

### ●かとう・しんいち

1977年生まれ。2007年、民間企業から北陸地区最大の病床数を有する浅川病院グループの基幹病院、浅川総合病院に入職。総務課にて人事、労務管理等の業務に従事。現在は管財課にて物品管理の業務に携わっている。

市で開催された「医療経営士中級養成講座」において大変刺激を受けました。講師を務めた国際医療福祉大学の山本康弘教授は「病院勤務時代にさまざまな部署を経験したことで、病院全体を把握できた」と話されていて、当時、総務課から管財課に異動したばかりだった私は部署異動に複雑な思いを抱いていたのですが、さまざまな部署を経験することで、それぞれの立

場や視点を理解でき、職員間の連携にも寄与できることを知りました。それからは、医師や看護師、臨床検査技師など他職種のもとに積極的に足を運ぶように心掛け、各スタッフから直接話を聞くことで、医療機器、医療材料に対するニーズや考えを把握するよう努めています。

第1回「全国医療経営士実践研究大会」では最優秀賞を受賞されました。発表のきっかけは?

当初は論文提出のつもりでしたが、全国の病院から参加する医療経営士のみなさんと交流したいと思い、演題発表に申し込みました。発表では、生化学自動分析装置の買い替えによる効果に関するテーマを取り上げました。当初は、事務長から契約書の管理を任せられ、ただ契約書を確認・整理することが仕事だと思っていたのですが、次第に価格や契約内容に対する疑問がわき、それが改善につながりました。今にして思えば、事務長は契約書という文書管理だけでなく、内容を精査したうえで改善を期待していたのだとわかりました。

今後の取り組みについて教えてください。

医療機関における医療材料の選定には、医師や看護師など現場スタッフの意向が優先されがちです。そこで医療経営士としての知識を活かしながら、医療材料をマネジメントしていきたいと思っています。特に、DPCによる包括医療が一段と進展するなか、病院経営の視点では材料のコスト面ばかりが注目されますが、単に安いものを使えば良いとは思いません。高価な材料を使うことで感染率が低下し、在院日数が短縮されることもありますので、ベンチマークなどのさまざまな分析手法を駆使しながら、取り組んでいきたいと思っています。



**本年度6月試験  
2級合格者の  
等級変更受付中**

当協会では、本年6月16日(日)に実施した第5回「医療経営士2級」資格認定試験に合格した正会員の2級への等級変更申請を受け付けています。  
等級変更事務手数料(2,500円)の入金と協会ホームページの

**協会事務局からのお知らせ**

**第2回「全国医療経営士実践研究大会」  
参加受付中!  
2級合格者の等級変更手続きもお忘れなく**

6月の試験も無事終了し、今号の1面に掲載のとおり、2級52人、3級278人の方が合格されました。おめでとうございます。

また、第1回「医療経営士1級」資格認定試験のエントリーならびに、今年11月に福岡で行われる第2回「全国医療経営士実践研究大会」の参加エントリーと演題登録も開始されました。全国医療経営士実践研究大会は、日頃のご活躍をご披露いただくよい機会になると思いますので、多くの医療経営士の皆様の演題発表への参加をお待ちしております。詳細は協会ホームページよりご確認ください。

さて今月は、2級合格者の等級変更手続きについて、事務局よりご案内申し上げます。6月の試験で2級に合格された3級会員の皆様は、合格証明書交付(合格証番号の発行日)より6カ月間が等級変更登録の有効期限となります。協会ホームページより「個人正会員等級変更申請書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、協会事務局までご送付願います。

なお、等級変更事務手数料として2,500円が必要となりますので、郵便局に備え付けの「払込取扱票」またはATMよりご入金いただき、振替払込請求書兼受領証を等級変更申請書の裏面へ貼付ください。ご不明な点がございましたら、協会までお問い合わせください。

また、当協会では、「法人正会員」を引き続き積極的に募集しております。病院・企業などで組織一丸となって「医療経営士」の育成に取り組み、協会活動を下支える会員制度ですので、個人正会員が多く在職される病院・企業の皆様は、ぜひとも法人会員への入会をご検討願います。

それではまた次号でお会いいたしましょう。

「個人正会員等級変更申請書」に必要事項を記入のうえ協会へ提出することで、等級変更申請ができる。  
書類到着後に等級変更審査が行われ、審査通過後、協会から認定登録された「医療経営士2級」として、「認定登録番号付認定証」が交付される。  
なお、2級合格証明書交付(合格証番号の発行日)より6カ月間が等級変更登録の有効期限となっている。

**2級、3級試験エントリー  
7月31日より受付開始**  
当協会では、第6回「医療経営士2級」資格認定試験の受験エントリーを、7月31日(水)より開始する。エントリーの締め切りは8月29日(木)。  
「医療経営士2級」の主な対象者は、医療機関に勤務し、経営部門および事務部門(中堅職員・管理職)、診療部門およびコメディカル部門(管理職)等に携わる人材や、医療関連サービス・企業においてコンサルタント、MR、MS、医療機器(メーカー・販売)等に勤務する人材(中堅職員・管理職)、研究者、さらに医療機関の経営部門および事務部門への就職を目指す人材など、医療経営に関する幅広い知識や経営課題を解決するための分析力を有し、その実践ができ、かつ中堅管理職が身につけておくべき医療経営に関する知識・問題解決能力を有し、実践できることを前提としている。

受験料、試験時間、試験内容などの詳細は、協会ホームページの2級試験概要を確認いただきたい。  
なお、第6回「医療経営士2級」資格認定試験と同日に開催される第10回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリーも、同一スケジュールで受け付ける。

**一部正会員の  
会員有効期限変更について**

当協会では、4月、6月、8月、10月の登録月の正会員約240人に対し、会員期限の変更を案内している。

これは、正会員登録を1月、5月、9月の「ブロック制」に統一するための措置であり、変更にあたっては正会員の不利益にならないよう、期限の「延長」という形で対応している。  
この結果、4月正会員は5月正会員へ、6月、8月正会員は9月正会員へ、そして10月正会員は翌年1月正会員へと変更されることとなる。

この会員期限の延長に伴い、年会費の期限も同様に延長され、今後の年会費請求および更新等も、新たな期限で案内される。なお、今回の会員期限および年会費期限の変更については、本協会より該当者へ案内を郵送する。

**本年9月満期分年会費の支払いは8月15日まで**  
当協会では、本年9月で年会費が満期となる正会員に対し、年会費の請求を開始した。対象者には、年会費請求の案内を郵送済みで、支払期限は満期日の1カ月前となる8月15日となっている。

**大募集! 「経営トップの名言・格言」  
優秀作品は2014年版の  
『医療経営手帳』【今週の格言】に掲載!**

日本医療経営実践協会では、皆様が所属する組織のリーダーの名言・格言を募集しています。優秀作品は『医療経営手帳2014』(11月刊行予定、日本医療企画刊)の【今週の格言】に掲載いたします!

病院長や経営トップ、現場リーダーが発した心に残る言葉、組織の共通目標となっているスローガン、行動規範、経営理念など、皆様が所属する組織のオリジナルの名言・格言をお寄せください。たくさんのご応募をお待ちしております。



- 募集内容:ご自身が所属する組織のリーダー(理事長、病院長、事務長、社長、会長、部門長など)の名言・格言(60~90字程度)。
- 応募締切:2013年8月末日
- 応募方法:日本医療経営実践協会ホームページの「応募フォーム」からご応募ください。

**参加者募集中!! 日本医療経営実践協会 夏季地域支部研究会**

医療経営士のネットワークづくり、仲間づくりのチャンス! ふるってご参加を。詳細は当協会ホームページをご覧ください。

支部	日時	テーマ	講師	場所	事務局
関東支部	9月7日(土) 13:30~16:30	医療経営士だからできる 災害に負けない病院づくりポイント整理講座【第1回】	浅野睦氏(株式会社フォーサイトコンサルティング代表・一般財団法人リスクマネジメント協会理事)	大宮ソニックシティ805会議室	日本医療企画関東支社 (緑川、☎03-3256-2885)
北陸支部	8月28日(水) 18:00~21:00	医療経営士・介護福祉経営士合同研究会 医介共働/連携(全4回)第2回「地域を知る」	田中大悟氏(医療法人仁志会理事・社会福祉士・介護支援専門員)	石川県地場産業振興センター 新館5F第13研修室	日本医療企画北信越支社 (二口、☎076-231-7791)
東海支部	8月3日(土) 研究会14:00~18:00 懇親会18:00~20:00	【第1部講演】静岡の地域医療のいまとこれから 【第2部ワークショップ】「誰かなんとかしてくれ!!」 院長の叫び! 経営難病院を救え! (第3回名古屋医療マネジメント研究会と共同開催)	【第1部】山岡泰治氏(浜松医科大学医学部医学科地域医療学講座特任教授)	協和ケミカル株式会社本社会議室	日本医療企画関西支社 (星、☎06-7660-1761)
関西支部	9月	グループワーク(テーマ調整中)	調整中	調整中	日本医療企画関西支社 (齊藤、☎06-7660-1761)
九州支部	9月7日(土)	元新聞記者が伝授! 効果的な広報とは(仮)	水内純清氏(社会医療法人天神会広報部長)	日本医療企画九州支社セミナールーム	日本医療企画九州支社 (杉安、☎092-418-2828)